

第1回 羽黒地域審議会
会議録（概要）

期 日 : 平成18年2月24日(金)
場 所 : 羽黒コミュニティセンター 集会室

第 1 回 羽黒地域審議会会議録（概要）

日 時 平成18年2月24日（金） 9時30分～

場 所 羽黒コミュニティセンター 集会室

出席委員（五十音順）

今井勇雄、今井真一、呼野祝二、梅津久美、岡部茂二、神林稲造、金野市子、金野祥子、
金野信勇、斎藤 敬、斎藤 一、斎藤 勝、佐藤繁明、高橋 澤、土岐智子、野口與惣
右衛門、早坂一広、古野嵩恒、山田勝実

欠席委員

半澤 仁

市出席者

鶴岡市長 富塚陽一

羽黒庁舎 支所長 金野和夫、次長兼企画商工課長 佐藤 茂、総務課長 武田功之、
税務市民課長 斎藤 寛、健康福祉課長 星野文紘、農林課長 榎本久紀、観光課長
榎本光男、建設課長 田村光明、教育課長 丸山 武、教育課主幹 田村廣実、企画商
工課企画調整主査兼係長 国井儀昭、企画商工課企画調整係主任 山口 幸、企画商工
課企画調整係主任 大川智之

本 所 政策調整室長 石澤義久、調整課長 石塚治人、政策調査課長 柴田昌明、
主査 宮崎清男

次第

- 1．開 会
- 2．市長あいさつ
- 3．委員紹介
- 4．会長・副会長の選出
- 5．合併後の状況について
- 6．説 明
 - (1) 地域審議会の概要について
 - (2) 新市建設計画の概要について
- 7．協 議
 - (1) 今後の運営について
 - (2) その他
- 8．その他
- 9．閉 会

【会議の概要】

(辞令交付)

1 開会(金野和夫支所長)

2 市長あいさつ

富塚陽一市長 ただいま司会が申しあげましたとおり、皆様には大変ご多忙のところをまた早朝からお集まりいただきましてまことにありがとうございます。そして、ただいまは委員にお願い申しあげましたところ、皆様に快くお受けいただき誠にありがとうございます。あらかじめお話は申しあげておるとは思いますが、この委員会は合併に伴う法律に基づくたいへん権威のある委員会でございます。ご高承のように昨年10月1日に合併いたしましたからもう5ヶ月になろうとしていますけれども、いろいろ戸惑いもあったやにもお聞きしておりますが住民の皆様には大きな変動も無く、問題も無く経過をすることができていると聞いておりました、これは関係の皆様のご理解の賜物と存じ、改めて厚く御礼を申し上げます。特にまた旧役場の職員も一生懸命頑張ったからと思っておりますが、ただこれからこそいろいろな問題があるわけでありまして、様々な面でご相談を申し上げることと思っております。お気付きの点につきましても何なりとご指摘いただき、またご理解ご協力いただき、また住民の皆様にも時にはご説明をいただくようなこともあろうと思っておりますので何卒よろしくお願いを申し上げます。先程申しあげましたとおりこの委員会は合併法に基づくもので、後ほど事務局から説明をする予定になっているはずですが、お手元に建設計画をお配りしておりますけれども、これは合併を進める手続き上、必須な書類であります。これまで3年有余半に渡りまして、旧町村長さん、議会の議員さんあるいは住民の方々、今日も協議会の委員にお願いした方2人おいででありますけれども、いろいろご審議いただいて、これからの新市をつくるのに、こういう方針をこういう施策を講じながら頑張ろうというような内容を記述したものでありまして、県知事の承認を頂き、また総務大臣からもお墨付きをいただいた計画であります。ただ時代もどんどん変わりますのでこれも少しずつ変えざるを得ないと思っておりますが、皆様方の委員会はまずとりわけこの建設計画の見直しの必要のある場合はどうするかとか、あるいはこれうまくやっているかというようなことを監督していただくような仕事、あるいは私たち市長をはじめとする執行当局にいろいろな注文ご指導があれば何でもおっしゃっていただくようなそういうような役割を果たしていただくようお願いを申し上げますことになっております。委員さんの任期はまた別といたしまして、そういう権威のある委員会でありまして、この建設計画が残っている限りというのは平成27年ということでありましてけれども、それまで存続をしてしっかり新しいまちづくりを、特にこれ旧町村区単位で設けることになっておりますので、しっか

り声を反映していくと同時に新しい市を建設するのにご協力をいただきながら、とにかく他の町村から合併したためにおかしくなった、などと言われないようにしなければなりませんので、その辺もご理解とご指導とご協力を賜りますようお願いを申し上げます。なぜ合併したかとの話しは、とくにご承知のことかと思しますので、余計なことを言う事は無いかとは思いますが、おおまかに申し上げますと財政事情が非常に逼迫しているということでもあります。

我々国民はどここのどんな町村であれどうであれ、最小限公共的なサービスを受ける一定の基準というものを権利として補償されておりまして、それに必要なお金は税金で賄うことになるわけですが、税金で足りない所は国が交付金として、交付するという補償をしてくれた。その交付金の源である税金がなかなか伸びなくなっている。とても今までの調子の具合に交付はできない、こういうことに相成ってきて、そういうことであればまず総務的な経費を節減することでだいぶその辺は、国民としてのやっぱり税の過剰負担を借金を後に残さないという、そういう義務もあるわけでありまして、そんなことで合併したらどうだろうということでも合併を選択した。ちなみに、今日この新しい市で、旧町村の場合と比べますと人件費は、議員さんにも英断をもって辞めていただいたり、色々したわけですが、年間6億違ってきました。6億の金を出さなくていいというか節減というか、その分国の財政の厳しくなった分を住民の皆様にしわ寄せをしないですむという、そういう勘定になるわけでありまして。その辺が、旧町村で合併しない町村は、本当に新聞でも見ますとおり涙ぐましいほど職員の削減をしたりして一生懸命頑張っている。それはそれで一つの考え方でありましてけれども、しかし切れれば良いというわけではなくて、切れれば切っただけ行政能力が落ちるわけでありまして。新しい時代の要請に応える力を備えるという意味では決していい話ではない、ということになるわけです。そんなことで2番目は、今申し上げたとおりこれからの時代は市町村が自分でものを考え、自分で地域に合うような施策を考えて頑張らなければならない時代になってきている。今までは、ならば国や県の言う事をそのままそうですなどと言って受けて仕事をしていれば、それで大過なくきたけども今度はそうはいかないのではないかと。どうも大都市中心の内閣の方針も考えもある、ちらちらみえる等の評論もある。それはともかくとしてやっぱり我々は我々なりの、地域に合うような政策を考える力を持たなければならない。それは十分役場のレベルでも分かっていた。しかしどうも人手がない、時間が無いということになっては、その役割は果たせない。そこで一緒にすることによって勉強する時間ができるし、三人寄れば文殊の知恵ともいうくらい、いろいろな可能性を究明する力も湧いてくる。それが一番私は重要なことだと思います。住民の皆様からは新しい時代に入りいろいろな公共に対するニーズが多様になってきて、そして難しくなっている。そのことに対してそのような機能を行政がち

ちゃんと備えなければならない。そのような機能を行政がちゃんと持てるようにならなければならない。そのために力を合わせよう、そういうことが一番重要な目的ではないかと。そして3番目、同じことですが、国や県の仕事を市町村がやれという地方分権の時代になって法律が出たわけですが、ろくなものが降りて来ない。なぜ降りてこないのか調べてみると、国のほうで役場・市町村では出来るわけがない。信用してくれない。実際そんなことを言われても仕方ないところもあるわけですが、こんなことは言わせておけない、どんとこいというくらいの力のある自治体になり、そして堂々と分権を、国や県の権限も我々受けとめてこなす、という位の力を持たなければならない。そのためそういう3つの目的を掲げて合併したんだというわけでありますので、頑張っただけでやらないと何のために合併したか分からなくなる。これから私も全く経験の無いことでありますけれども真剣に立ち向かって、他からも負けないしっかりした施策を講じていこうというふうに思っておりますので何卒ご理解をいただきたいと思っております。あと来年度の予算編成は、だいたい終わりましたので、これから議会にかけて議論するわけです。皆さん心配もあったやにもお聞きしてありますが、大きな変化の無いように十分配慮いたしたつもりです。やっぱりやり方が旧町村で違います。違うのを焼きごてでいきなり一緒にするようなことはしない。闇雲に後ろから、金槌で叩くようなことはするなと、こう言っていますので、そういうことの無いようにきちんと理解をされた上でやるように最大限努力はさせるようにします。何しろしかし国のお金も減らされてきたものですから。今年も国勢調査上の人口減少で4億5千万円減らされました、国からの交付金を。これも馬鹿にならない額で、そんなようなことで厳しい状況もありますのでしっかりとこれに堪えていけるように頑張っていきたいと思っております。これから事務局からも説明申し上げますのでよろしくご審議ご協力下さいますようお願い申し上げます。少し長くなりましたが今後ともよろしくようお願い申し上げます。挨拶にさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

3 委員紹介

4 会長・副会長選出(会長 岡部茂二、副会長 斎藤 一)

5 合併後の状況について(金野和夫支所長説明)

6 説明

(1) 地域審議会の概要について(佐藤茂次長兼企画商工課長説明)

岡部茂二会長 これらのことについて、ご質問等ございませんか。
なければ次に進行したいと思っております。

(2) 新市建設計画の概要について(佐藤茂次長兼企画商工課長説明)

岡部茂二会長 皆様のご質問ございませんか。どなたか何かございませんか。

内容の多い概要でございますので後ほど改めてお読みいただきたいと思います。

8 協議

(1) 今後の運営について

岡部茂二会長 今後の運営について説明願います。皆さんからこの協議会についてこのようにしたらとかご意見ございませんか。

初めてでもありますので、今後のこの協議会について要望とか、このようなやり方はどうだろうとかありましたらお願いしたいですが。

もしなければ、次回の日程等については会長に一任していただきたいとこのように思います。

(2) その他

岡部茂二会長 その他、委員の皆さんから何かございませんか。事務局の方から何かございますか。

佐藤茂次長兼企画商工課長 事務局の方では特に、本日協議題以外に準備していませんけれども、このように、地域庁舎の各管理職も全員出席しているところですので、今日の議題以外につきましてもこれからの合併に関する事項ですとか、何かお気づきの点等ありましたらこの場で、ご質問をお受けしたいと思います。

岡部茂二会長 ひとつ皆さんの希望とか、どうか。

富塚陽一市長 話題提供としていままで他の審議会でどのような話題が出ているか、ちょっと事務局の方で紹介してみてもはどうだろうね。

建設計画は、いずれ皆さんにゆっくり検討していただきたいのですけれども、われわれも検討して、諮問すべき事項がはっきりしたところでご諮問申し上げますので、その際には、審議会を開催していただいて、計画をこうやって直したらどうだろうということをお諮りいたすこととなりますけれども。そのほかに何でも、ゆっくりでもいいので見ていただいて、そして事務局に言っていただければ会議はいつでも開けるようにしておきますので。どうか、気楽に、堅苦しく無く運営できるようにご協力をよろしく願います。

柴田昌明政策調査課長 (他の地域審議会の状況について説明)

岡部茂二会長 他地区では具体的なご意見があったようですが、本会におきましてどなたか1人でも2人でもご意見ございませんか。

梅津久美委員 先程、来年度から保育園では、合併によって他地域に鶴岡市内へ羽黒地域から何名が行ったり、他地域からこられる方もいるということですが、一番興味があるのが幼稚園の問題です。他地域の保育園に入る方は今後、幼稚園の年齢になったときはどう

するかお聞きしたいと思います。

丸山武教育課長 保育園について羽黒地域以外の保育園に入った後に羽黒地域では従来から5歳児幼稚園ということできていますので、幼稚園の年齢になったときにどうするかというお話ですけれども、これまでも委託保育ということで他の市町村に保育を委託するというので、羽黒地域以外でも制度としてやってきています。その後、5歳児で幼稚園に入って小学校に繋がっていくということできていますけれども、そのことで特に支障が出ることは無かったということで考えていますので、合併によって従来以上に委託保育的な、羽黒地域以外の施設に入った場合でも特に心配する必要は無いのかなというふうに考えております。

岡部茂二会長 よろしいですか。他にございませんか。時間もあるようですので。どうぞ。

高橋澤委員 3つばかりお願いしたいのですけれども、なんといたっても合併で人的交流が広まったということがすごく幸せです。いろんなイベントとかの広告なんかを見ても今迄では参加できないものもこんな楽しいものに行けそうだなとか、参加できるようになった。交流を益々盛んにしていただきたいです。例えば友好盟約を結んでいる国際交流の方にも、今度は羽黒の子供たちも目を開くことができますし、羽黒では新島と交流やっていますけれども、参加者が限定されてきて少なくなってきましたが、他の市町村からも行けるといふことですし、例えば産物なんかも羽黒のものでなくても他の温海のものとかもお互いに行けるわけでありますので幅が広がります。また結婚問題、青少年のそういう機会をどんどん増やして、呼びかけていただいて進めてほしい。

スポーツレクリエーション施設整備事業、新市の主要事業ですけども、羽黒ではベースボールパーク事業とあるが 町内に住んでいながら詳しく知らない。今さら野球場というふうにもチラッとしたりもしますが、この内容について知りたい。

合併協では地域性を大事にしようということで3、4年を目処に今のままを踏まえて頑張らしようということでしたが、予算の取り組みとかいろいろありまして、財政難ですので人件費は6億円削減できたが他は0.5%の削減。基金の取り崩しとか市債発行とかいろいろマイナス面ありますけれども1年間は足並み揃えてみましょうということでもありましたけれども、やはり1年間で英断していただいて進むべき道をはっきりしていただきたいと思います。英断するときは、切り捨てる場合は、この審議会にも説明を丁寧にしていただければ納得すると思いますので、英断すべきことはしていただいて土台作りをしっかりお願いしたいと思います。ご苦労とは思いますがよろしくお願い致します。

岡部茂二会長 それではお願いします。

佐藤茂次長兼企画商工課長 3点ほどの意見を含めた形でのお尋ねです。最初の人的交流の拡大についてのお話ですが、例えば鶴岡市や羽黒町のイベント・祭りとかを開催するに

あたっても、具体的な壁があった訳ではありませんが、行政の違いで遠慮もあったし、なかなか隣の市町村の施設を自由に使いにくいというものも多分あったのだと思います。しかし合併後の概況のところでも説明しましたけれども、羽黒町の創造の森交流館の施設利用は、かなり旧鶴岡市の方々の利用が進んでいるという状況もあるわけでありますので、こういった形で、合併した新市では段々進んでいくと思います。具体的には出羽庄内国際村などについても、どんどん旧町村の方々からも利用していただきたいと考えているところです。

物産の交流の話でございますが、個々には 物産の交流・PRや販売促進そういったものは、これまで各町村ごとに進められておりましたが、事務事業調整に係るものでは本所観光物産課を主体にして、これから進んでいくものと考えています。

ベースボールパークについては教育課からお願いしたいと思います。

田村廣実教育課主幹 『ベースボールパーク整備事業』について、概要説明させていただきます。現存するドリームスタジアム球場と連携し、当地域を野球のメッカにしていきたいと考えています。内容的には複数の球場を新たに整備し、その三面の内、一面が他の競技にも使用出来る様な多目的グラウンドとして計画しております。又、私共が所管しております羽黒体育館等とゆぼかが自転車道で平成16年に結ばれましたのを機に、互いに結合したような、「健康と運動の里」エリアに位置付けしまして、市民の健康増進・体力増進に努めていきたいと考えております。尚、こうした事業を計画致しますと、なにかと賛否両論があり、その上、メリット・デメリットというものが様々な点で考えられます。最初に私共が捉えているいくつかのメリットを申し上げますと、新たな雇用の創出・地場製品の消費拡大、と言いますのも、合宿所の建設も計画しておりますので、野菜など地場製品の使用の拡大に繋がるのではと考えております。又、健康増進・青少年の健全育成・観光事業の拡大などがあります。数年前に国際大会、キューバと全日本との練習試合がドリームスタジアムで開催されまして、たいへん好評を得ております。こうしたことから、観光事業の拡大や地元チームの競技力の向上等に繋がるものと考えております。反面、デメリットや課題もいくつかございます。推察されますとおり、膨大な経費を要するため、市民の皆様や他競技種目の団体の皆様からも賛同を得られるように我々に課せられた責務であると考えております。又、施設の整備やグラウンドに天然芝の植栽を計画しておりますので、維持管理費にも多大な経費が要すると思っております。今後、皆様からのご指導・ご助言をいただきながら、こうした課題を克服していき、事業の推進に努めていきたいと思っております。以上で概要説明とさせていただきます。

岡部茂二会長 よろしいですか。山田さんどうぞ。

山田勝実委員 商店のことについてお尋ねしたいのですけれども、商工業、三川町に大き

なショッピングセンターなどできまして、大変地元の商店街が衰退している。商工会としましては、特色ある店作りをなさいと進めているが、なかなかそこまでもいきません。提案なんですけれども、プレミアムつき商品券等を発行して、地元から買っていただくようなことができないものか、予算を要望してみたが認めてもらえなかった。当分の間、少しの間でもいいですから、そういう救済措置を設けてもらえないものかと思います。農業につきましては色々補助金等あるわけですが、商工業については補助金というのは、個々には何も無いものですから、そういうものでも少し当面の間やっていただいて、その間に店の建て直しとか色々魅力ある商店街を造るとかを考えていったらどうかと、こういうふうに思いますが、いかがなものでしょうか。

岡部茂二会長 じゃ、お願いします。

佐藤茂次長兼企画商工課長 プレミアム商品券というお話でありましたが、参考になるかどうかわかりませんが、旧鶴岡市の商工会議所では庄内藩の藩札というようなことで5%のプレミア付きの商品券のようなものを、期間を限定しながら発行した経過がございまして、必ずしも考えられないようなことではないと思います。しかしなかなか旧羽黒地域のみ限定して商品券を発行するのは、現段階では難しいのではないかと考えております。仮に全地域まとまってということであるならば、まだ可能性はあるのかなと考えられますけれども、そういうまとまりが出ればということで、将来的に考えていく道もあるのかなというふうに思っているところです。なお、商工会さんの関係は、新年度につきまして、物産の交流拡大の経費でありますとか、石段マラソンの経費とか若干考えさせていただきましたので、この場を借りて報告させていただきます。

岡部茂二会長 よろしいですか。それでは呼野さん。

呼野祝二委員 今日一昨日あたりの新聞をみますと、平成18年度におきまして産業部を2部に分割するという記事が新聞にみえております。この合併の必要性をそういったもの照らし合わせまして、ましてや面積もその他非常に大きくなった新市でございます。的を得た一つの機構改革ではないのかなと私なりに評価する、そういう賛辞を持っているのであります。これからの進むべき道としての機構改革というふうにして、非常に的を得たものでないかなと申し上げたい。なお合併というふうなことになるますと、非常に心配と期待というものを市民が持っているというようなことを、いろんな話し合いの中で出ていますし、合併して良かったとか、結果が良くなるには非常に時間がかかるかとは思いますが、やはり市民のサービス・ニーズに応えるという、そういった面でのきめ細かな対応、デメリットなものをいくらかでも少なくするというような方向で、事務局・当局からご苦労、ご心労を願えればあり難いなど。最近の様々な話し合いの中から感想の一環として申し上げます。回答まで必要とする質問ではございません。

細かいことで申し訳ありませんが、別冊の12ページ羽黒町のハード事業載っておりますけれども2行目に細谷荒俣線の道路整備が出ておりますが、これ実は10年ほど前になりますか、関係集落の区長さん方、12・3集落あったかと思いますが、区長会の会長を交えて当時の町長に申請・嘆願をした経過があり、ここに報告として出てきているわけですので、一安心という感じであります。富沢橋から真っ直ぐ上荒俣の北側を通過して345線に繋げるその実現方を要望した経過がございます。その辺の進捗状況なり、藤島羽黒両町との関係なり、そういったことを、新市になりますので、具体的に早期に実現を図られる一項目にしていただければありがたいなとそんなふうに思ったところでございます。

岡部茂二会長 第2点目のほうについては建設課ですか。

田村光明建設課長 今おっしゃられるとおり10年程前、この計画が一度浮上して集落まで説明会にいった経過がございます。計画が町道との関係で農道整備ではできなかった関係で取り組みできなかった状況にありました。最近、藤島と羽黒で広域の関係での農免農道でやっていきたいと計画し、県の方に働きかけていく予定であります。計画実現に向けて頑張っていきたいと考えております。

岡部茂二会長 それでは広瀬公民館長さん。

齋藤敬委員 広域の関係で、高橋さんからもありましたが、ベースボールパークにあるような施設を櫛引にも同じようなものがある。詰めはどのようになっているのでしょうか。

岡部茂二会長 今のことについて、お答えいただけますか。田村さんひとつ。

田村廣実教育課主幹 社会体育係で担当しておりますが、総合的な調整が未だ取れておりませんので明確な答弁ができません。ご承知の通り、櫛引地域の場合、河川敷にある野球場やサッカー場等大変整備が行き届いております。そのグラウンドで例年、大学の合宿等もやっておられるようですし、そちらの合宿所の整備ではないかと思えます。先程申し上げました通り、調整が済んでおらないので、明言できなくて申し訳ありません。

金野和夫支所長 少し補足させていただきますけれども、合宿施設整備事業それからベースボールパーク整備事業もそうですが、その他に小真木原公園の整備事業・ふれあいと躍動の広場整備事業、それに旧朝日村の村民運動場整備事業、そういった体育施設整備で色々な事業が建設計画の具体的事業として掲げられております。ご質問のような合宿所とベースボールパークと関連のあるような内容の施設がありますので、こういったものについては同じものをなん施設も作るということには当然なってこないものと思えますし、全体の計画の中ではスポーツレクリエーションの振興を図るには、拠点施設の充実整備とそれから誰でもが気軽に利用できる地域拠点施設を整備することが重要でありますので、機能が集積されている小真木原運動公園の拡充整備と旧羽黒町の既存施設と連携しながら多目的な活用ができる先程の野球場施設整備、地域拠点としての藤島の町民体育館の改修・

テニスコートの人工芝の設置、旧櫛引町の総合運動公園の体育施設の合宿施設・イベント広場の整備、それから旧朝日村の運動施設整備、それから旧温海町の体育文化施設を整備して環境を整えるなど全体的に網羅して載せてあります。これから具体的に詰めていくということになると思います。このまま全てが施設整備なるとは限らないと思いますし、より効率的なものとしての検討にこれから入ると思います。

岡部茂二会長 他にございませんか。はい、どうぞ。

野口與惣右衛門委員 広報誌の件でございます。消防団としても団を、団員を称えるためにも広報誌を利用して、町民にお知らせしていただいたわけですが、市の考え方等もありまして、そのような細かい組織的なものは取扱いしていないようですが、是非広報をしていただきたい。

またちょっときつい言い方かと思いますが、新聞等も見慣れないと見にくいように、旧鶴岡市の様式の広報のような感じがします。これからどのような広報誌を考えていくかお伺いしたい。

佐藤茂次長兼企画商工課長 消防団の活動について、これを広報にもう少し掲載していただきたいとのそういう内容かと思いましたが、市で発行しております広報誌はボリューム的に限界があるということから、できるだけ載せるようにはしているはずでありますけれども、旧市町村ごとのかなり詳細なことまで掲載をするというのはなかなか厳しいかと思えます。なお地域版の広報も月1回発行しておりますので、できるだけそちらの方で取りこめるように、これから考えていきたいと思っておりますので、なお細部については少し打合せさせていただきたいと思えます。

野口與惣右衛門委員 旧町村の単位で消防団としての広報というのを旧町村で2つほど持っている。そのようなこともありまして、是非公平なものにしていただきたい。予算的なものも公平なものにしていただきたい。それぞれある部分を踏み込んで取り組んでもらいたい。

金野和夫支所長 旧市町村の6消防団あるわけですが、全部のところ団の広報誌発行しているわけではないのですが、それぞれ広報誌を発行しているところもあるようですので、これから全体的な調整など協議しながら同じような形でいければというふうにも思いますので、これから事務的なところで詰めていかなければならないというふうに思います。旧羽黒町では消防団紙そういったものを今まで発行してなかったもので、そういった事も含めてこれからの検討にさせて頂きたいと思えます。

岡部茂二会長 他にございませんか。じゃどうぞ。

神林稲造委員 まず今年は非常に雪が多くて、年寄りの生活には雪下ろし支援などの助成があり安心を与えていただいたということで感謝申し上げます。雪というのは毎年降る降

雪量が違うわけですから、こういう大雪の今年のような場合も豪雪対策本部を一早く設置されて対処された。やはりそういうふうに住民を安心させる対策、生命の尊重といいますが、そういう面を優先的に考えてほしい。予算が非常に容易でないということをいわれませんが、福祉については臨機応変にできるような措置をとっていただく、そして安心して暮らせる高齢者の生活、よりよい福祉社会が実現できるよう頑張っていただきたいと思います。

また私たち民生児童委員をしておりますが、最近個人情報保護というようなことで、色々な内部の面の状況観察というのが難しい時代に入ってきております。今後とも色々な機関との連携そして、安心した生活を確立できるような形に進めていただきたい。

岡部茂二会長 もう1人2人ぐらいございませんか。はいどうぞ。

土岐智子委員 前に景観審議会でも話し合われたのですが、門前街の景観整備事業は、どのような街並み景観の保全整備を考えているのか、具体的に説明していただきたいと思います。

田村光明建設課長 門前町景観整備事業ですけれども、当初街並み保存という格好で計画されたと思います。まずは道路の安全確保のために、電柱を道路から外すというようなことで地中化になるのか、脇に立てるか分かりませんが、そういう関係と道路の舗装面の整備といいますが、独特な何か観光にふさわしい道路面を作るといった計画があると思います。事業としては電柱の移転と道路整備というのが主な事業でございます。

別にバイパス11号線の路線整備はできましたけれども、駐車場関係についても、これからの取り組みになります。

岡部茂二会長 よろしいですか。じゃどうぞ。

古野高恒委員 2点ほど、この審議会の年間の会議はどのような形になっていくか、必要に応じて会長が召集されるということで、問題なければ集まらないのか、それとも1年に何回か集まるのかそのへんのことを聞かせてほしい。

もう1点は 南部農道が整備されて、鶴羽橋という新しい橋が架かったわけですが、非常に便利になるだろうと期待していたが、橋を渡った後の先の道路ができなくて、その辺がいつになったら112号線まで繋がるようになるのか、その辺お聞かせ願えればありがたい。そういった計画が無いとも聞いているのですけれども。今の状態ではどちらに行ったらよいか分からない、橋は渡ってみたものの。そのような思いで私たちがいるのですけれども。一つ宜しくお願い致します。

岡部茂二会長 審議会の年間の回数とかあるのかどうかということですが、

佐藤茂次長兼企画商工課長 地域審議会の開催回数といったことの話でしたけれども、建設計画の主要事業の一覧表も本日本配布をさせていただきましたが、先程支所長からの説明

にもありましたとおり、決してがんじがらめに固められたそういう主要事業ではございませんので、各地域でかなり似ているような事業もあるので、こういったものが時代のニーズに果たしてあっているのかどうかというようなそういった検証も必要です。そういったことを議会の場で審議をしていただきながら、新年度の予算がどのようになるのか、そういった結果をこの審議会において新年度に皆様に話をする場が多分出てくると思います。更に毎年度、この建設計画を地域に合わせたような形で作り変えていくようなことも考えられますので、最低限、年複数回の開催をしていくというものだと考えているところです。

なお、具体的な次回の審議会については 年度の変わった段階でできるだけ早く開催できるように、会長さん副会長さんと相談をさせていただきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願い致します。

岡部茂二会長 もう1点について。

田村光明建設課長 南部農道は今年完成しました。昨年の春ですけれども、旧鶴岡市の斎地区の人たちから、旧羽黒町長がその先の道路建設について、鶴岡市に働きかけてほしいということで、一緒にやってみようとの要望を受けています。今の道路は、南部農道は農免農道ですので農林関係でやりました。そこから先はどのような事業で進めていくかそれはまだ決まっていません。これからの協議題になります。ですから、いつまで112号線まで繋がるかということはちょっとお答えできかねます。

岡部茂二会長 他にございませんか。無ければ市長さんから。

富塚陽一市長 どこの審議会でも活発なご意見をいただきましてありがとうございます。事務局からの答弁で十分だと思いますが少し補足させていただきます。

まず雪の問題では大変ご苦労お掛けしたと思います。予算の話もありましたけれども、問題あったら具体的にご指摘いただきたいわけですが、予算は、私は十分に採ったつもりでいます。今までですと全区域で6億円ですけれども、足りないから除雪できないということはまかりならないと思って、追加補正を5億4千万円ほど行いました。今回の議会で議決していただくこととなりますが、例年の倍はつけたつもりですけれども、もし具合悪かったらまたしたい。見積はまず十分取れていると思うので、今後ともご注意いただいた分もう少し良くしたい。どうして消えるものに金を億も使うとは何事だと怒る人もいました。でもこれは舗装したり改良したりするのと同じで怪我したり事故あったりでは困るので、これはお金には糸目つけないでしなければならぬ。国からは3千500万円しかもらっていない。6億に5億ですから、11億円は自前で出さなければならぬということですので、今年は負担は重かったと思いますが、今後とも宜しく願い申し上げます。

農林水産部をつくるということ、産業部を2つに分けるといふのを、たいへんご理解いただいて、感激しておりますけれども、農林水産業を巡る環境は格別厳しい他に、鶴岡市

の面で見ますと林野面積は10倍に増えましたので。ただ単に山林地域を、とかく言葉過ぎますけれども、山林地域が過疎化するのには必須でありますので、林野の所有者は大変ご苦労しているだろうと。そこで森林の経営のことについても、どれだけ力出せるか分かりませんが、森林地域を子供さんたちの健康、学習の場にするとか多様な使い方について、いろいろな学識者の提言もありますので、農林水産業をもう一回見直しするということが重要だろうということでございますのでどうぞ宜しくお願いしたい。これには予算を少し余計に付けました。

それから予算面では、小中学校、特に小学校の子供さんたち、南庄内の子供さんたちがよく育つような地域に是非してもらいたいし、教育委員会でもそのようにするということがありますので。子供を丁寧に扱えるような、支援サポートするような先生とか、そういう指導援護体制を強化をすることにして、今までに無い予算を付けたつもりです。小学校の先生たちも、1人でとっても苦労して大変だという先生もおられるようですから、その辺のところを工面して強化していきたいというふうに思っています。

それから次の特徴は、合併した、しないに関わらずですけども、全国的に先程お話ありましたけれども、職員はどうしても減らさざるを得なくなります。どんどん財政事情も厳しくなりますので、10年で今のところ300人の削減というような計画を一応立てております。これは実際に減らせば良いものではなくて、仕事できなくなるとは困るわけでありまして、その辺を勘案しながらこれから仕事の合理的な整理、そしてまた新しい仕事には万全を期するように配慮しながら逐次やっていかなければならない。ただ公務員法もありますので、首切るということではないのでそこは了承願いたいわけですけども、順次退職者補充の関係を少し考慮しながら逐次やっていくということでありまして。

これから鶴岡もどこでもそうですけども、行政評価の時代に入ります、段々と。ただ一般の方に、いきなり評価してもらうにも評価基準が明確でない限りは、なかなか評価をお願いしても無理ですので、もう一度ここで私たちが今までやってきた仕事、行政の施策、果たしてこれ何をねらいにしてやってきたんだろう、何の目的でしてきたんだろう、どのような効果あがっているのだろうかということ、内部的に見直す時代に入ってきていると思います。どういう効果か、どういう仕事をしてきたかを抽象的に話し合いしたところで決まらない。最近国県市町村を通じて問題なのが、実態の掌握を曖昧なままに喋っているという傾向が非常に多いという感じがします。来年度以降議論するには、事実がどうなんだということ把握した上で、それを客観的な指標を通して、みんなで議論をするそういう場を作るようにしなければいけないのではないかということで、そういう配慮を来年度予算に濃くさせていただいたという点であります。この調査結果に基づいて施策の見直し諸々の点で、ここにご報告しながらやっていかなければというふうに思っており

ますのでそのようにさせていただきたい。

具体的にお話ありましたけれども、例えば保育園の関係は具体的に言ってください、この子がこうなっただとか。今のところうちの方は、民間保育所にだんだんシフトするようにしています。行政評価の中で、やっぱりこれは行政で持つより民間に移行したほうがよいとの話しも出てくると思います。民間の方が、言葉悪いですけども、若くて新しい教育を受けた保育士さんが多い。公営では子供さんとの年齢ギャップが大きくなっていて、それでいいのかなと。市立の保育所の場合、臨時でやるというのは嫌いなんです、私は。最近こういう厳しいこといっているんですけども、問題だと思うんです。子供さんには臨時だろうが正職員だろうが関係ないが、職場の中で正職員と臨時職員の差別があるのは、臨時の人も気分的に複雑な気持ちでそんな気持ちで子供に当たってほしくない。それならばいっそのこと民間で同じ身分で同じ気持ちで子供に当たるような、そういう保育士体制の方がよいのではと思う。そんなこともありますので改善すべきところは進めていくようにしますから、具体的でない気が付かないのでどうぞ遠慮なく言ってください。そして出来る事からやっていくようにしますので。小学校の不登校の子とか、本当は皆、根はいい子なんです。そういった子を転換するように何かできないかという配慮です。そのことは今度保育所にとっても、もしか何か潜在的なそういう子供を小学校に行けば安心だと、そういうふうになれば、保育所も助かるというような話もありましたので、小学校の先生方も保育士の方と一緒にいい子を育てるんだという、そういう地域にしたいとこう思っていますのでご理解いただきたい。ご理解だけでなく問題はどんどん指摘していただきたい。そして直るわけですから、是非そのように。一生懸命やればいいまちになる。問題というだけでは、こんがらがってしまうものだから、何をすれば良いかということ具体的を言っていただきたくとたいへん物事が進むと思いますので。それから消防団のPRというのは、わたし良く分からないけれども、五十嵐団長とよく相談して下さい、問題があれば。どうぞ宜しくお願いします。

今日は大変素晴らしいご意見をいただきました。この会は会長さんをお願いして年に2回は最低しなければと思う。新年度に入ったら新しい予算が可決されましたら説明はしたらいいでないか、18年度の事はこんなことやるんだということをご紹介します形で、審議会してみたらどうでしょうか。そのようなことで宜しくお願いします。

岡部茂二会長 活発なご意見いただきまして、ありがとうございました。これをもちまして協議を終了したいと思います。

8. その他

9. 閉会 (金野和夫支所長 午前11時30分)